



12月といえば、大黒様のお歳夜の行事食が思い起こされます。幼い頃、母から納豆汁に使う納豆をすりつぶす役割に任命され張り切った私は、もういいよと止められるまで夢中になって納豆をすりつぶしていた記憶があります。そして、すりつぶした納豆を母に渡した後は食卓に並んだたくさんの料理のつまみぐいにいそしんでいました。

今度は食べさせてもらえばかりでなく作り方を覚えられるよう、我が家の味を教わりに近いうちに実家に帰ろうと思います。

(担当) M. I

目 次

1. GAP 基礎研修会の開催について
2. 国際水準 GAP 認証ガイダンスの開催について
3. 2025 米作りフォーラム in 庄内の開催について
4. 商品開発セミナーの開催について
5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！
6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは✿
7. 米に関するマンスリーレポート等（令和6年11月）

【1. GAP 基礎研修会の開催について】

安心安全な農作物が求められる現代において、GAP（農業生産工程管理）の取組は生産者や流通関係者の皆様に役立つものとなります。そのため、GAP の意味や取組内容についての基礎研修会が下記日程で開催予定です。

○開催日時・会場／

【最上会場】

新庄市民プラザ 第5・6 研修室（新庄市大手町 1-60）

2月3日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

【置賜会場】

山形県置賜総合支庁 本庁舎 講堂（米沢市金池 7 丁目 1-50）

2 月 4 日（火）午前 10 時～正午

○研修内容／

「GAP 概論 ～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～」

○講師／安心農業 株式会社 代表取締役、JGAP 上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○申し込み／ 下記 URL より申し込み

<https://agrin.jp/r6yamagatagap-kensyu.html>

○問い合わせ／

山形県農林水産部 農業技術環境課 農産物安全担当

TEL：023-630-3419 FAX：023-630-2456

【2. 国際水準 GAP 認証ガイダンスの開催について】

GAP（農業生産工程管理）は、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動であり、EU 等諸外国では認証取得が農産物の取引条件とされるなど、農産物輸出が注目される昨今では GAP 導入が世界的な潮流となっています。そこで、国際水準 GAP の認証取得に意欲のある団体や指導者を対象にしたガイダンスが下記日程で開催されます。

○開催日時・会場／

【置賜会場】

伝国の社置賜文化ホール 第 1 小会議室（米沢市丸の内 1-2-1）

1 月 9 日（木）午前 10 時～午前 11 時 45 分

【村山会場】

山形県高度技術研究開発センター 第 1・2 研修室（山形市松栄 2-2-1）

1 月 9 日（木）午後 2 時 15 分～午後 4 時

【庄内・最上会場】

文化館なの花ホール研修室（東田川郡三川町横川堤 172-1）

1 月 10 日（金）午前 9 時 30 分～午前 11 時 15 分

○研修内容／「国際水準 GAP の認証を円滑に取得するためのガイダンス」

○講師／ 安心農業 株式会社 代表取締役、JGAP 上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○申し込み／下記 URL に掲載の申請書様式を下記問い合わせ先に送付ください。

<https://agrin.jp/r6gap-guidance.html>

○問い合わせ／山形県農林水産部 農業技術環境課 農作物安全担当

TEL：023-630-3419 FAX：023-630-2456

【3. 2025 米作りフォーラム in 庄内の開催について】

昨今の気候変動に対応するための米作りについての講演会等が下記日程で開催予定です。

○開催日時・会場／

いろり火の里 文化館なの花ホール （東田川郡三川町大字横山字堤 172-1）

令和 7 年 1 月 9 日（木）午後 1 時～午後 4 時

○内容／

午後 1 時 30 分～午後 1 時 55 分

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動庄内地域本部食味コンクール表彰式

午後 2 時～午後 3 時

講演「気候変動に強い土づくり」

講師：新潟食糧農業大学食糧産業学部 アグリコース長 伊藤 豊彰 氏

午後 3 時 10 分～午後 3 時 50 分

パネルディスカッション

「気候変動に打ち勝つおいしい米づくりに向けて」

○申し込み／

添付のチラシにて令和 6 年 12 月 23 日（月）まで申し込み

（最寄りの JA または普及課にお申し込みください。）

○問い合わせ／

庄内総合支庁 農業技術普及課

【4. 商品開発セミナーの開催について】

年間 78 万人が訪れる「道の駅ましこ」をご存じでしょうか？ たくさんの方が訪れる人気の秘密は、地元の農作物を活用し「とろたまぷりん」など数々のオリジナル商品！

「道の駅ましこ」は人々を魅了する商品を生み出す仕組みが整っている全国でも珍しい道の駅です。この度、道の駅支配人・高橋裕也氏と、道の駅の仕掛け人、地域づくりの専門家・上田昌史氏をお招きし、地域資源を活かした売れる商品づくりについてお話いただきます。地域の価値を引き出した商品開発を学べる貴重な機会です！

○日時／令和6年 12 月 9 日（月）午後 2 時～午後 4 時

○会場／酒田市産業振興まちづくりセンター サンロク

（酒田市中町二丁目 5 番 10 号 酒田産業会館 1 階）

○参加費／無料

○定員／20 名

○申し込み／下記 URL より申し込み

<https://sanroku.jp/cat-seminar/seminar241209/>

○問い合わせ／酒田市産業振興まちづくりセンター サンロク（電話：26-6066）

【5. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。初冬の澄んだ空気の中で、季節の移り変わりを楽しむおすすめのアgriculture体験は以下のとおりです。ご興味のある方はぜひ申し込んでみてください！

・体験メニュー①：葉ぼたん摘み取り体験

提供者：佐藤 静子

連絡先：0234-31-1627

期間：12 月中旬

料金：1 本 70 円

体験人数：3 名～10 名

・体験メニュー②：冬野菜とストックの収穫体験

提供者：佐藤 芳美

連絡先：0234-93-2944

期間：12～1月

料金：1名 1,200円

体験人数：2名～10名



○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

（電話：25-3100／HP：<https://www.sakatagreentourism.com/>）

【6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは❖】

花は一輪でも、私たちの生活に彩りを加えてくれます。しかし、基本がわからずに、なかなか暮らしに取り入れられない方も多いのではないのでしょうか？そんな方のために、「花のまち酒田 華いっぱいプロジェクト」※では、お花に関する情報をお届けします。

今回は、お花のある暮らしを始めるために、必要なアイテムについて教えていただきました。

【必要なアイテムは？】

- ・花瓶
- ・花切ばさみ

【花瓶】

「お花のある暮らし」を始めるなら、最初に選びたいアイテムが花瓶です。透明なガラス製や白い陶器の花瓶は、どんなお花にも合わせやすく、インテリアにもなじみやすいので、初めての花瓶にぴったりです。

少量のお花から楽しみたい方には、シンプルで使いやすい1輪挿しタイプの花瓶がおすすめです。花瓶の口径が広すぎると、お花がバラバラに広がり、バランスが取りにく

くなることがあります。そのため、少ない本数のお花を飾りたいときは、くびれのあるつぼ型や細長い筒型の花瓶を選ぶと、お花をきれいに支えてくれるでしょう。

一方、華やかにたくさんのお花を飾りたい方には、口径の広い花瓶が適しています。このタイプの花瓶は重く安定感があるものも多いため、大きめのお花や枝物でも安心して生けられますし、いただいた花束をそのまま飾ることもできます。また、花瓶の水にバクテリアが繁殖すると、お花が水を吸い上げられなくなってしまいますが、口径が広い花瓶は洗いやすく、清潔に保ちやすいので便利です。

【花切ばさみについて】

切り花は茎の切り口から水を吸い上げていますが、茎が水に浸かっていると、だんだんと柔らかくなったり変色したり、ぬめりが出る場合があります。こうした状態になると、水を吸い上げにくくなり、お花が長持ちしません。

そのため、切り花は購入した際は、花切ばさみを使って水揚げをすることが大切です。また、飾っている間も切り口を新しくしてあげることでお花をより長くきれいに楽しめます。

この際、普通のはさみで切ると茎の水を運ぶ管がつぶれてしまい、水を吸い上げられなくなってしまう可能性があるため、切れ味のよい花切ばさみがおすすめです。

お気に入りの花瓶と花切ばさみを手に入れたら、ぜひ気になるお花を飾ってみてください。お花があることで、日々の暮らしがもっと素敵に、鮮やかに感じられることでしょう。毎日、お水を交換するとお花が長持ちしますよ。

今月のおすすめのお花は、菊・ランキュナス・ストック・ハイブリッドスターチスです。



今回の記事は、

《Lotus Garden（酒田市日の出町2丁目1 1-5）の畠山さん》からご提供いただきました。

※「花のまち酒田 華いっぱいプロジェクト」は酒田産花きの認知度向上を目指して、

市内の有志の生花店と団体、そして市が共同で立ち上げました。

【7. 米に関するマンスリーレポート等（令和6年11月）】

農林水産省より11月号が配信されました。

詳しくは下記URLよりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- 1 米の基本指針（令和6年10月30日公表）の変更のポイント 特集-1

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html

- 2 今般の端境期の米の需要と供給の動向の背景・原因を踏まえた今後の
対応について 特集-5

- 3 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 特集-7

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、

発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html



～GAPは生産者と消費者を信頼で結ぶかけ橋～

令和6年度

GAP基礎研修会

安心安全な農産物がもとめられる現代において、GAPの取組みは生産者や流通関係者の皆様に必ず役立つものになります。この研修会に参加して、GAPの意味や取組内容を一緒に学びましょう！

GAPって
なに？



1 日時・会場等

【最上会場】令和7年2月3日（月） 午後1時30分～3時30分
新庄市民フラザ 第5・6研修室（新庄市大手町1-60）

【置賜会場】令和7年2月4日（火） 午前10時00分～12時00分
山形県置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目1-50）

※ 最上会場の駐車場が満車の場合は、新庄市文化会館駐車場（新庄市堀端町4-67、Tel：0233-22-7029、徒歩5分程度）をご利用ください。

2 研修内容

「GAP概論

～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～
～GAPは生産者と消費者を信頼で結ぶ懸け橋～」

講師：藤井淳生（ふじい あつお）氏
（安心農業株式会社代表取締役、JGAP上級審査員）

3 対象

生産者、JA、市場・流通関係、各種実需者、
県・市町村等の関係者

4 定員

各会場50名程度

5 参加申し込み

別紙様式（裏面）、もしくは上記QRコードから、
令和7年1月17日（金）までお申し込みください。



↑ 参加申込フォーム

（問い合わせ先）

山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当 今部（こんべ）

TEL:023-630-3419 FAX:023-630-2456 e-mail:kombee@pref.yamagata.jp

別紙様式

【GAP基礎研修会出席申込み】

宛先 農林水産部農業技術環境課 今部（こんべ）あて

FAX 023-630-2456

e-mail kombee@pref.yamagata.jp

出席者について下記のとおり報告します。

所 属 _____

電話番号 _____

会 場 どちらかに○（ 最上会場 ， 置賜会場 ） _____

職 名	氏 名

◎ 日時及び会場等

日 時	会 場
令和7年2月3日（月） 午後1時30分～午後3時30分	最上会場：新庄市民プラザ 第5・6研修室 ＜新庄市大手町1-60＞
令和7年2月4日（火） 午前10時00分～午前12時00分	置賜会場：置賜総合支庁本庁舎 講堂 ＜米沢市金池七丁目1-50＞

◎ 申込み締切り

令和7年1月17日（金）